

7

まちづくり 地震・津波にそなえる

(1) 大きな地震が起こったら

2011（平成23）年3月11日、東北地方太平洋おきで大地震が発生しました。



強いゆれと津波で、多くの建物がたおれたり流されたりしました。そして、1万人以上がなくなりました。

わたしたちの住んでいる静岡県でも、今後、このような大きな地震が発生するかのうせいがあります。



地震が起こったら、津波も心配だね。高い建物にひなんしたほうがいいね。



たけるさんたちは、地震や津波へのそなえについて知りたいことを話し合いました。

- 焼津市は、地震や津波にそなえてどのような取り組みをしているのだろう。
- 焼津市には、地震や津波にそなえてどのようなしせつがあるのだろう。
- 地域の人々は、どのようなそなえをしているのだろう。

焼津市や地域には、地震や津波に対するどのようなそなえがあるのだろう。

(2) 市役所へ行って調べよう

たけるさんは、焼津市ではどんなことをしているのか、市のぼうさい計画課の方に話を聞いてみました。

ぼうさい計画課のおじさんの話

市では、地域ぼうさい計画を作っています。この計画では、地震が起こった時の市、県、消防、警察などの役割などを決めてあります。この計画は、国や県から出される最新のじょうほうに合わせて、毎年ぼうさい会議を行い見直しています。もし、大きな地震が発生したら、市は災害対策本部を立ち上げます。消防、警察、自衛隊などの人と協力して災害対応にあたります。

また、ふだんから地震や津波が発生した時のために、市内で行っているぼうさい対策を住民に「ぼうさいパンフレット」でじょうほうを伝えたり、「ぼうさい地図」で津波の浸水予想やひなんしせつなどを知らせたりしています。焼津ぼうさいメールに登録している住民には、様々な災害のじょうほうをけいたい電話に送っています。

市ではどんな取り組みをしているのだろう。



ぼうさい地図には、ひなんしせつだけではなく、色々なじょうほうがのっているね。なぜ、このようなじょうほうがのせられているのかな。



地震や津波にそなえてどのようなしせつやせつびがあるのだろう。

(3) しせつやせつびを見に行こう

たけるさんたちは、ひなん場所にはどのようなところがあるのか調べました。



ひなん場所を示す看板



津波ひなんタワー



焼津市の津波ひなんタワーは、いつでも入って上ることができます。大人といっしょに上る訓練をしてみてください。

指定津波ひなんビル

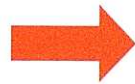


駐車場の下に便をためるしせつがうめてあります。さいがいの時はマンホールのふたを開けてトイレを設置します。

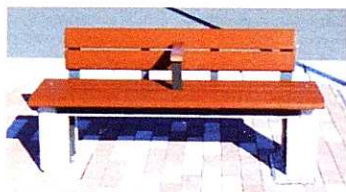
ふだんはベンチになっていますが、さいがいの時はベンチの部分を外してかまどとして使い、食事を作ります。



駐車場



トイレ



ベンチ



かまど

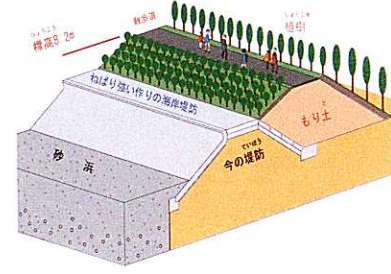
石津西公園と大井川ぼうさい広場は、さいがいの時に住民が活用できるせつびをそなえています。

港や海岸では、津波のひがいを少なくするようなしせつが作られていることを教えてもらいました。

完成イメージ



ていぼう「潮風グリーンウォーク」



「潮風グリーンウォーク」のつくり



栃山川の水門



港のきょうへき

また、もしもの時にそなえて、学校の体育館にひなん所を設置する訓練をしていることも知りました。

いろいろなしせつやせつびで大きな地震や津波にそなえているんだね。だんボールやテントも用意しているんだね。ほかにも市でそなえていることがありそうだね。



国や県といっしょに工事をして、ていぼうを強く高くして、津波のひがいを少なくするようにしています。木を植えることで根がはり、もり土は強くなります。ふだんは住民に散歩をしてもらえるようにしてあります。



地域にくらす人々は地震にそなえてどのような取り組みをしているのだろう。



かく 各家庭の安全を周りに 知らせる旗



夜、タワーにひなんする訓練



地域のぼうさい倉庫にはどんなものが用意されているのかな。何のために使うものなのかな。



(4) 地域の人々のそなえを調べよう

たけるさんたちは、地域にくらす人々は、どのようなそなえをしているのかを知るために話を聞きました。

自主ぼうさい会のおじさんの話

それぞれの地区の自主ぼうさい会では、様々な取り組みをしています。市が行う年3回のぼうさい訓練では、みんなが安全にひなできたかたしかめたり、救出作業訓練やきゅうご訓練などを行ったりしています。

わたしたちの自主ぼうさい会では、毎回のぼうさい訓練で組ごと車座集会を行っています。ぼうさいについて話し合うことで住民の意識を高めたり、近所にどのような人が住んでいるのか知ったりするためです。近所の人と顔見知りになることで、もしもの時に助け合うことができると思っています。また、地域の人にぼうさいの知識をもつてもらうために「ぼうさいハンドブック」を作り、読んでもらいました。

ぼうさい倉庫には、もしもの時に必要なものをそろえ、いつでも使えるように点検しています。

防災ハンドブック
～地震災害を中心に～

令和2年3月
大富第20自主防災会

このハンドブックは、各校が交代した備品・図書等です。

(5) ぼうさい学習室で調べよう

たけるさんたちは、ぼうさい学習室「しえ〜る」へ行き、地震や津波にどのようにそなえたらよいか調べました。



わたしたちは地震や津波にどんなそなえが必要だろう。



家庭で用意するとよいもの



ひじょう持ち出しぶくろの中身



そなえを学べる学習テーブル

見学したことをもとに、自分たちにできることを考えてみました。

自分の家に、もしもの時に必要なものがあるか調べてみよう。もしなかったら、買ってもらうように家の人におねがひしよう。

